

市民参加プラットフォームを活用したオンラインによる意見聴取の概要(第2弾)

【参考資料1-2】

募集期間:令和7年11月28日(金)～12月21日(日)
募集テーマ:令和9年度からの「将来ビジョン・岸和田」第2期基本計画策定にあたり、みなさんの声をお聞かせください。岸和田市の掲げる基本目標を実現していくために、みなさんはどのようなことができそうですか？
参加者数:24名、意見総数:41件(なお、下記では、意見を細分化して記載しています。)

基本目標	個別目標	個別目標の方向性	個人や家庭の役割	(意見概要)	行政の役割	(意見概要)
岸和田の次世代を育むまち	安心して子どもを生み、育てられている	妊産婦や乳幼児の切り目のない健康づくりを進める	●妊婦健診や乳幼児健診など、健診をしっかり受ける ●乳幼児の健康管理や成長発達の把握に努め、必要に応じて育児相談を受ける ●地域住民は、子育てのための活動に積極的に取り組む		●個別訪問など、妊産婦や乳幼児の健康管理を支援する	産後のママをサポートできるよう、父、実母や義母が休暇を取れるシステム。 実家を含めた家族でのサポートが得られない産後ママへのサポート体制。
		妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める	●子育てに関するイベントなどに積極的に参加するとともに、SNSを活用して情報を発信する		●子育て家庭が安心して相談できる場所や機会の提供、子育て情報の発信を行う ●妊娠を望む家庭や子育て家庭の経済的な支援を行う ●子育て家庭が安心して過ごせる場を提供する ●子育てに関する講座が受講できる機会を提供する ●母子の保護と自立のための支援を行う	産後自宅で夫婦だけで育児する家庭に対する家事代行サービス利用補助制度の導入。 保育園利用家庭には買い物代行や宅配サービス利用補助の提供。 入園準備金を補助する制度の導入。
	働きながら子育てができています	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める	●性別に関係なく、育休・産休の取得を理解し、協力する ●共働き世帯や同じ立場の人と交流し、悩みや経験を共有する ●地域活動に参加し、子育てや教育について話せる場をつくる ●結婚や離婚について気軽に経験を話せる場をつくる ●子育てに悩んでいる人が、子育て経験のある人からサポートを受けられる環境をつくる ●保育をサポートする機会へ参加する	学童保育の見守りボランティアへ参加する。	●子育て家庭が安心して相談できる場や機会の提供、子育て情報の発信を行う(再掲)	
					●ニーズに応じた保育や学童保育の量の確保を行う	学童保育の朝と夕方の両方の時間延長。 フルタイムの共働き世帯に対する学童保育時間の延長。 延長保育の追加料金の廃止。
	子どもの健康と安全が保たれている	登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める	●家庭で安全確保のための行動や知識を教える ●子どもの安全見まもり隊に参加するなど、地域の子どもと顔をあわせた交流をする ●散歩や買い物など、日常生活の中で地域の子どもたちを見守る		●通学路の巡回パトロールなど、学校や登下校時、地域での安全対策を実施する ●地域で安心して遊べる環境を整える ●交通事故を未然に防ぐために必要な空間や施設等を整備する(再掲) ●地域のコミュニティ活動を支援するとともに、市民活動に参加しやすい環境づくりを進める(再掲)	公園に遊具を増やし、子どもの遊び場を充実。 公園のゴミ・喫煙対策の強化。
					●安心して通学・通園できる環境を整える ●経済的な支援を行う	公立小中学校入学準備金補助の実施。
	子どもの個性と能力が豊かに育まれている	適正な就学・就園や経済的な支援により教育機会を確保する	●子どもの教育に関心をもつ ●子どもが勉強や好きなことに取り組めるよう、家庭は子どもの関心ごとを応援する ●楽しみながら、自発的に勉強しなくなる環境づくりや工夫を行う ●勉強や知識が将来に役立つこと(事例など)を子どもと共有する		●データを利活用するなど、子ども一人ひとりにきめ細やかな指導を行い、基礎学力の向上を図る ●子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じて、適切な支援を行う ●子どもたちの心の成長のために、様々な体験を行える機会や場をつくる(再掲) ●学校と地域が一体となって、地域の教育力の向上を図る(再掲)	学習支援・補習の充実。
		学校園の適切な維持管理や魅力ある運営を行う	●学校行事に積極的に参加する ●学校施設を大切に使う ●学校教育に関心をもち、教育について家庭で考える	子どもに学校の施設を大切にするようにいう。 保護者は学校行事へ参加し、学校と協力して子供を支える。 大人が見本となる行動をとる。	●児童生徒が安全かつ快適に学べる学校施設環境を整える ●教育行政を円滑かつ効果的に運営し、活力ある学校づくりを進める ●子どもたちの心の成長のために、様々な体験を行える機会や場をつくる ●学校と地域が一体となって、地域の教育力の向上を図る ●児童生徒の不安や悩みに対する相談・指導の体制を整える ●地域コミュニティ活動を支援するとともに、市民活動に参加しやすい環境づくりを進める(再掲) ●困ったときに、地域の中でお互いに助け合える関係づくりを支援する(再掲)	未成年が非行に走る可能性が高いというイメージを払拭する。
		地域と連携し、子どもの社会的な心を育む	●近所であいさつや声がけをする ●親子で地域活動に参加する ●思いやりや自主性・責任感を育む家庭をつくる(再掲) ●家庭で社会のルールやマナーについて話し合う	大人は日頃から子供に善悪を教え、見本となる生活を送る。 親は自分が子どもの見本になるように行動する。 基本的なマナーを守る。 親として、子どもにルールやマナーをしっかりと伝える。		
				だんじり祭りでマナーを守る。 祭りのマナーの向上。		
				絵本を読んであげたり、図書館に行ったりして、本とふれあう機会を作る。 大人が本を読む習慣をつけ、図書館を活用することで、子供も本が好きになる。		
健康で自分らしく生きられるまち	医療サービスを受ける環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている	医療体制の充実により、必要ときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める	●かかりつけ医をもち、まずはかかりつけ医に相談する ●応急処置などを学び、救急時の対応に努める ●救急車を適正に利用する	絵本を読んであげたり、図書館に行ったりして、本とふれあう機会を作る。 大人が本を読む習慣をつけ、図書館を活用することで、子供も本が好きになる。	●様々な学習を手軽に行える機会を提供する ●多くの市民が学べる環境(場)を整える	泉州北部小児センターの医師の確保困難と医療事務の人手不足への対応。 泉州北部小児センターの施設は、組織体制を市立病院に移し、保健センター内の空室へ移設。
	平和で多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	個々の人権や多様な価値観の尊重意識を広げるとともに、多文化に触れる機会を創出し、他者理解を促進する	●地域の人にあいさつや声がけを行い、関係性を築く ●様々なマイノリティへの理解を深める ●他国の文化や価値観などを知り、理解を深める ●国際交流のイベントなどに参加する ●新しい人権問題などに関心をもつ	人の話を最後まで聞くこと。 批判せず、一旦受け止めること。 いろんな人とコミュニケーションをとること。 困っている人の力になれるよう努力する。 他国の文化を知る。	●多文化に触れる機会や場を創出するなど、他者理解を促進する	

基本目標	個別目標	個別目標の方向性	個人や家庭の役割	(意見概要)	行政の役割	(意見概要)
安全で安心して暮らせるまち	事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める	●交通ルールやマナーを守る ● 大人が交通マナーなどの模範行動をとる ●路上で遊んだり、自転車を放置しない ●交通安全活動に積極的に参加する ●高齢者の自主的な免許返納を支援する ●子どもの安全見まもり隊に参加するなど、地域の子どもと顔をあわせた交流をする(再掲)	交通ルールにおける家庭の親の行動による子どもの倫理観の育成。 交通ルールを守る。	●交通ルールやマナー、交通安全意識の高揚と対策を図る	
		空き家対策や建築物の安全性の確保を行うとともに、良好な住環境の創出を進める	●空き家を放置する危険性を理解する ●所有する空き家などを確認し、適切に管理・利活用する ●所有する建物の管理を適切に行う		● <u>危険な空き家の情報を把握するとともに、空き家の管理・利活用を支援する</u> ●建築物の安全性を確保する ● <u>良好な住環境の創出を促進する</u>	廃寺・廃神社、空き家・空き地による犯罪誘発の阻止。 廃寺・廃神社、空き家・空き地の現状把握。 廃寺・廃神社、空き家・空き地の有効活用と保存。 まちの活性化による犯罪の抑制。
		防犯意識の向上とともに、犯罪防止につながる環境づくりを進める	●防犯知識の習得や防犯グッズの活用などを行い、窃盗や特殊詐欺など、身近な犯罪に対する防犯意識を高める ●地域の防犯活動に参加する	路上飲酒はしない。	●地域の自主活動を支援する	
人と自然が共生した住みよいまち	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	まちの美化を進める	●一人ひとりがマナーを守り、不法投棄やポイ捨て、落書きなどをしてしない ● 落書きを見つけたら放置せずに対応する ●普段の生活の中で、ごみ拾いを習慣化するなど、美化意識を向上させる ●ペットは責任をもって飼育する ●生活排水に配慮する ●浄化槽の維持管理を徹底する ●単独浄化槽から合併浄化槽への転換や下水道への接続を行う	公共空間の清潔とマナーの改善を訴える。 ゴミはゴミ箱に捨てる。 ゴミは適切な場所に捨てる。 ゴミ落書きのないきれいなまちづくりを進める。 落書きしない。 落書き対策として、場所によっては、先に絵を描くといった逆手の対策。 落書きを隠すために、落書き禁止のポスターを上から貼る。 落書き通報のシステムがあれば、通報する。 落書きは放置すると増えるため、早期の対応が必要。 歩き煙草をやめる。	●衛生的で清潔なまちをつくる ●下水道整備を進めるとともに、合併浄化槽への転換や下水道接続に関する支援を行うなど、水質汚濁を防止する	ゴミ落書きのないきれいなまちづくりを進める。 落書き通報のシステムの導入。 公共物の落書きへの迅速な対応。 落書きへの早期対応の体制構築。 路上の落書き対策を強化し、警察介入を含む迅速な対応。 行政は落書き対策を公的に説明し、成果を示す。 岸和田市民全員が落書き等を通報できるよう登録制を導入。
			●アドプト・ロード・プログラムなどの植栽活動に参加する ●田畑やため池の適切な維持管理に努める ●自宅や地域の緑化を推進する ●公園などの公共空間をみんなが快適に利用できるよう努める	木や花を植えたり、雑草を抜くボランティアがあれば参加する。	●市民の緑化意識の向上と地域緑化の推進を図る ●市民に親しまれる親水空間や公園づくりを推進する ●森林を適正に保全・活用する	
			●家庭や地域でごみの分別や不用品についての知識・情報を共有する ●積極的に3R+Rに取り組む ●エコバッグやマイボトルを利用したり、環境に配慮した製品を購入する	社会インフラを支えてくれている人への感謝。 使えそうな物は、地域の広告掲示板などを活用。 ゴミの分別はきちんとする。	●3R+Rを周知するとともに、ごみの減量化や資源の有効活用を推進する	
					●ごみを適切に処理する	
にぎわいと活力を創造するまち	活発な経済活動が行われている	農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める	●地域の産業の魅力を知り、発信する ●積極的に地産地消に努める ● 使っていない農地を適切に管理する	使用していない農地の管理・活用や行政への相談。	●農業・漁業生産を維持するための支援を行い、地域で消費できる環境を整える ●農地の適正な保全・活用を支援する ●地域資源やまちづくりの情報を収集し、発信を効果的に	
		関西国際空港とのアクセス性を活かすとともに、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくりを進める	●観光資源を知り、SNSなどを活用した情報発信を行う ●観光客におもてなしの心で接する	だんじり祭りの日には関わらない選択。	●観光施設の管理・運営など、観光客の受け入れ態勢を整える ●観光資源の磨き上げや新たな観光資源の創出を支援する	
		岸和田の魅力が伝わっている	●地域資源を知り、理解する ●まちのイメージ向上につながる取組を進めるとともに、SNSなどを活用した情報発信を行う	岸和田の海産物・農産物を購入し、SNSで広める。	● 今までにない岸和田の魅力を含め 、地域資源やまちづくりの情報を収集し、発信を効果的に行う	インターネット上の悪評の軽減・解消。
				市が発信した情報をリポストして広げる。		だんじり祭りに頼らないまちづくりの推進。
				まちの美化やマナー向上後の魅力発信。		
				インターネット上の悪評の軽減・解消。		
				市外の人に岸和田の名産をPRする。		
	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	拠点とのアクセス性の向上を図る	●自動車だけでなく、路線バス・コミュニティバスなどの公共交通機関を積極的に利用する ●徒歩や自転車など多様な移動手段を確保・活用する ●交通ルールやマナーを守る(再掲)	公共交通機関を利用。	●地域の特性に応じた最適な交通手段の検討・構築を進める	
		適正な土地利用と景観形成を進める	●景観を大切にし、景観に配慮したまちづくりを進める		●計画的で適正な土地利用や都市施設の配置を誘導する ●良好なまちなみと景観の形成を推進する	だんじりファーストではないまちの再開発。

基本目標	個別目標	個別目標の方向性	個人や家庭の役割	(意見概要)	行政の役割	(意見概要)
みんながつくる持続可能なまち	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	地域の担い手が育ち、まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める	●地域の取組について関心をもち、理解する ●地域で自分にできることを考え、行動する ●コミュニティ活動やボランティアをはじめ、地域のまちづくり活動や運営に積極的に参加する	(意見概要) 地域の活動への参加を積極的に行う。 近隣の方への挨拶を日常的に行うことで、地域のつながりを作る。	●地域のコミュニティ活動を支援するとともに、市民活動に参加しやすい環境づくりを進める	
		当事者意識の醸成とともに、様々な主体が力を発揮し、協働・連携できる環境づくりを進める	●自治基本条例や市の取組に興味をもち、理解・参画する ●意見を述べる場に積極的に参加する ●個人や家庭でできることは、責任をもって行う ●地域で自分にできることを考え、行動する ●選挙の投票に行く ●市議会の運営に関心をもち	市民はこのような気軽に意見を言える場に参加する。	●分かりやすく参加しやすい協働・参画の仕組みをつくる ●市としての一体感を醸成する ●市民との情報共有を推進する ●選挙を適正かつ円滑に執行する ●市議会の円滑な運営を支援する	市はNPOとの委託提携・協働を推進。 行政は、市民団体・NPOの取り組みの積極的なPRを実施。 登録せずに利用できるアンケートの構築。 市議会議員や市役所職員が率先して市民活動へ参加。 市役所は窓口を開設し、住民の声を率先して聞く。 市民の声への回答と行政の説明の実施。 意見収集手段として登録制のアプリを導入し、全市民の意見を聴く。
	持続可能で信頼される行政になっている	業務の効率的かつ効果的な推進に資する職員の育成を進める	●市の取組に関心をもち、市政に関する認識を深める		●技術やノウハウの継承が行える環境を整えるとともに、政策形成やマネジメント能力をもった職員を育てる ●業務の成果を正しく評価し、職員の適正な配置に努める ●職員が働きやすく、業務に専念できる良好な職務環境を整える	行政は指揮を取ってまちづくりを推進。 行政はしっかりと考えることが必要。 財源の透明性と適正配分が不足していると感じている。
		適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める	●市の取組に関心をもち、市政に関する認識を深める ●統計調査に協力する		●目標の達成に向けて、計画的かつ適切な施策の推進及び進行管理、公平公正な事務の遂行に努める。 ●広域的視点をもって、時代に応じた施策を積極的に推進する ●合理的な組織編成と適正な人員管理に努める ●市及び公営企業の経営の効率性を確保する ●ICTを活用し、効率的に事務を行う ●公共工事や物品購入などの品質確保を図る ●市の財産を適正に管理する ●統計データを適切に管理する ●個人情報保護の徹底を図る	泉州北部小児初期救急広域センターの移設。
		安定的な歳入確保と適切な歳出管理を進める	●適正に申告し、期限を守って納税する ●受益者負担の考え方の下、各種使用料などを納付する		●市税等を公平かつ適正に課税・収納する ●中長期的視点で、効果的・効率的な財源配分や単年度収支及び基金・借入金の管理を行う	他市で実施されている支援を岸和田でも受けられるように。 生活保護や非課税世代への援助ではなく、子供のための教育や医療、保育園等へ税金を活用。 全国の良い取り組みを参考に、市民目線で税金の使用用途を決定。 ゴミ袋代の使い道を、より市民生活の現実的な場所へ回す。 財政の透明性と説明責任を高める。

●意見発出者の分析

